

令和 5 年 9 月 6 日
(独) 家畜改良センター
鳥 取 牧 場

細断型ロールベアラー実演研修会を開催します

家畜改良センター鳥取牧場（場長：河村^{かわむら} 正^{ただし}）では、栄養価が高く収量の多いトウモロコシを高品質で調製・保存できる細断型ロールベアラーを利用した技術について、下記のとおり現地研修会を開催します。

記

1. 開催日 令和5年9月13日(水) 13:30～15:00
2. 開催場所 鳥取県立農業大学校
鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238
3. 内 容
 - (1) 細断型ロールベアラーを用いた収穫作業体系に係る説明 13:30～14:00
 - ① トウモロコシサイレージについて
 - ② 細断型ロールベアラーについて
 - ③ 質疑応答
 - (2) 細断型ロールベアラーによる梱包実演 14:00～15:00
 - ① トウモロコシ梱包及びラップフィルムによる包装作業
 - ② 成形状況の確認
 - ③ 質疑応答
 - (3) アンケート調査の実施、回収

取材のご希望がありましたら事前に以下＜お問合せ先＞までご連絡ください。

＜お問合せ先＞

独立行政法人 家畜改良センター 鳥取牧場業務課

担当者： 藤本^{ふじもと}、川中^{かわなか}、本郷^{ほんごう}（早）

電 話： 0858-55-1511

FAX： 0858-55-2329

URL： <http://www.nlbc.go.jp/tottori/>

令和 5 年 9 月 6 日
(独) 家畜改良センター
鳥 取 牧 場

細断型ロールベラー実演研修会開催要領

輸入粗飼料が高騰を続ける中、国産粗飼料の重要性が改めて注目され、その中でも栄養価の高いトウモロコシは酪農家を中心に需要が高まっており、近年では肉用牛農場での利用もみられている。

トウモロコシ収穫は細断して密封することにより、乳酸菌発酵でサイレージに調製して保管するが、従来の収穫作業体系では、踏圧作業をはじめとした調製作業中の気密性確保が難しい上、シート等による密封作業の労力軽減が課題となっている。

一方、細断型ロールベラーの場合、細断したトウモロコシをロール梱包し、ラッピングマシンにより密封包装するため、人力作業を軽減できる。また、個別包装のため給与時のロスも抑えられるとともに、移動や給与の際の取扱いが容易である。

これらを踏まえ、国産粗飼料の飼料生産・利用促進に向け、下記のとおり本研修会を開催する。

記

1. 日 時 令和5年9月13日(水) 13:30~15:00

2. 開催場所 鳥取県立農業大学校

鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238

3. 内 容

(1) 細断型ロールベラーを用いた収穫作業体系に係る説明 13:30~14:00

① トウモロコシサイレージについて

② 細断型ロールベラーについて

③ 質疑応答

(2) 細断型ロールベラーによる梱包実演

14:00~15:00

① トウモロコシ梱包およびラップフィルムによる包装作業

② 成形状況の確認

③ 質疑応答

(3) アンケート調査の実施、回収